

< 9月23日シンポジウムでのご質問への答え >

立命館大学 村上弘

■質問の要旨 (大阪市営交通を守り発展させる会・宮崎様)

橋下市長が就任後まず行ったのは職員労組への攻撃、思想・イRezミ調査だったが、裁判で戦ってきた。

行政サービスの観点からは、新自由主義、民営化も問題がある。

■回答

橋下氏の労組・職員への攻撃の目的は、自分や維新への反対派を弱めることだけでなく、「敵」を華々しく攻撃して有権者の一部から喝さいを受けようとしたのだろう。しかし、違法なレベルまで攻撃したので、裁判を起こして抑制されたのは良かった。職員組合の方でも、社会への広報・PRの課題があり、また改善すべき点があれば改善しなければならない。

民営化にはメリット、デメリットがあり、道路公団民営化は高速道路建設のムダをなくす目的があった。国鉄のJRへの民営化は大都市圏でのサービス改善や駅の整備などを進めたが、「赤字ローカル線」の放棄や労組への弾圧、過重労働などの問題も起こった。市営交通などの地方公営企業は、以前は「親方日の丸」で非効率な面もあったが、近年は財政難もあってかなり集客・経営努力がなされているようで、これを客観的な数字で認識しながら、民営化論の是非を考えていきたい。